	学年												
1	2		5 6	1	<u> </u>		小笠原村立	原村立小笠原中学校 国語科 3年 年間指導計画					
月	単元名	深まる当	学びへ(1)	性の	中学2年生 を学習して る。				詩に用いら	れてい	の見方を捉え,自分の考えを広げること 1る語句や表現に着目して詩を読み深め		
				学	習活動						から「できる」授業への工夫		
	·詩·	はうつくしい を通読する。 を読み深める の特徴を生た		る。				ポイントつまずきやすい	・詩の構成	に注	意して内容を捉えること。		
4								工夫・手立て	・2年生で ・グループ ・デジタル	活動			
		Table minus	・わていて話	<del>المراكة</del>	田厂羊口		評価規準			1	註の中に山マノスなきか		
	知識・技能	して考えて				・表現断				取り組む態度主体的に学習に	詩の中に出てくる好きな言葉や表現を、 理由と共にまとめている。		
L		ノート・問題	題集・定期考				相上版の記点大切ころ		×40 1 44 0 =		ノート・問題集・定期考査・行動観察   		
月	単 元 名	深まる学	学びへ(4)	統元性の	などに着目	して,	場入物の設定を捉える 作品の魅力を考えるこ 足え,その生き方につい	とを学	習している。 を深める。	, = = =	意味を考えること,人物像や表現の効果では,その学習を活かし,作品の展開を踏から「できる」授業への工夫		
	·作品 ·登·	品を通読する 品の設定を扱 易人物の人物 易人物の心情		ヹる。 ゔ。	☆白冶刬			つまずきやすい	・現在と回	想を	がら「できる」技業への工大 読み分けること。 青を読み取ること。		
4								工夫・手立て	・ワークシ・グループ・デジタル	活動	を行う。		
		In+88 48=0	+>\\%	. \ - [ ]	担.の並ひ		評価規準	7./\	物語の展問の				
	知識・技	を読み分け場人物の心臓表現など	など,「現在 <sub>.</sub> けるポイントと い情や人物像 ごに着目して	となる詞 を表す いる。	語句や,登 「言葉,比	思考・ 表現	「現在」と「回想」の部分を読しかたの効果について考えて文章の内容に沿って登場人がを読み取り、自分の知識や終えている。	ている。 物の生き	方や価値観	取り組む態主体的に学習	物語の展開のしかたを捉え,学習課題に 沿って作品を批評したり,考えたことを 伝え合ったりしようとしている。		
	能	ノート・問題	題集·定期考			断	ノート・問題集・定期考			度に	ノート・問題集・行動観察・自己評価		
月	単 元 名	深まる言	学びへ(1)	統元性の	る。ここでは ながら聞く	t, <del>2</del> 0	の要点を捉え,筋道が近か学習を活かし,情報の	<sup>狙</sup> って( 信頼性 	の確かめ方	を理解	良拠について検討することを学習してい 解して使い,内容や表現のしかたを評価し		
	評価	iしながら聞ぐ	<		習活動				・自分の老	る」 <i>1</i> えと	から「できる」授業への工夫 比較しながらメモを取ること。		
	٠%،	ルに関する	、 討論会の一部  <練習をする		き, メモを耶	₹ <b>る</b> 。		ポイント	DJ07-5	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			
5								工夫・手立て	・話を聞く ・ワークシ		観点を確認させる。 か工夫。		
		田伽レニア	コノス桂和に	ついて	車虫胆尽		評価規準 自分の意見と根拠を明確にし、相手の	) 立場から	予想される反論に	1	問キ取った内容や手珥のしかたた性/		
	知識・技		いる情報に などに注意し			思考・表判	目がの意見と根拠を明確にし、相手のついても考えている。 立場ごとの主張と根拠、共通点と相違拠の適切さや自分の考えとの違い、則合っている。	点を整理	してメモを取り, 根	取り組む態主体的に学	聞き取った内容や表現のしかたを進んで評価し、今までの学習を生かしてメモしようとしている。		
	能	プリント・彳	<b>丁動観察</b>			断	プリント・行動観察			態度に	プリント・行動観察		

		学年							
1	2	小学校 3 4 5 6	中学校 1 2 3		小笠原村立	小笠原	京中学校	国語	科 3年 年間指導計画
月	単元名	深まる学びへ(2)	系単 引用しなが 統元 参考に歴史	ら,構 的背	成や表現の効果を伝え	合うこ	とを学習して でいい できません こうだい できまる できまる できまる できまる できまる できまる とうない とう	ている 読むる	きな漢詩を選び、気に入った表現や句を 。ここでは、その学習を活かし、教材文を ことを通して、「論語」の世界に親しむ。ま 関連付けて考える。
			学習活動				「わか	る」7	から「できる」授業への工夫
	·「論 ·「論 ·日常	て時に之を習ふ──「論語」という作品について語」を読み,孔子の考ええ 話」を読み,孔子の考ええ は活や自分の生活を振 伝聞を伝え合う。	知る。 方を読み取る。	葉が当	áてはまると思われる体	つまずきやすい			なを味わいながら読むこと。 を選び,理由を書くこと。
5						工夫・手立て		プでの ノート(	
					評価規準				
	知識・技能	教材文を参考に歴史的 教材の書き下し文や訓 を通して、「論語」の世界 る。	読文を読むこと 界に親しんでい	・表現野	孔子の人間の生き方に自分の生き方や生活でいる。	と関連の	付けて考え	取り組む態度主体的に学習に	人間, 社会, 自然などについて積極的に 自分の意見をもち, 今までの学習を生 かして朗読したり考えを伝え合ったりし ようとしている。
		ノート・プリント・暗唱・問題集			ノート・プリント・問題集・				
月	単元名	深まる学びへ(1)	系典 年生で情報	を整		を理解	似ている。こ	ここで	較・分類をできるようにしている。中学2 は,その学習を活かし,情報の発信日時,
		<u> </u>	学習活動				「わか	る」7	から「できる」授業への工夫
	·教材	整理のレッスン ł文を読み,情報を整理し 鼠に取り組む。	し,情報の信頼性に	こつい	て考える。	つまず	・情報の位	言頼性	性について考えること。
						がイント			
							・ワークシ・デジタル		
5						工夫・手立て			
					評価規準	<b>_</b>	<u> </u>		
	知識・技能	情報の発信日時、発信との観点から、情報の化いる。		・表現思考・判断		/		取り組む態度主体的に学習に	学習課題に沿って情報の信頼性の確か め方を理解し、積極的に使おうとしてい る。
		プリント・行動観察 						12	プリント・行動観察

		学年							
			中学校	小笠原村立小笠原中学校 国語科 3年 年間指導計画					
1	2	3 4 5 6	1 2 3		3 == ,,3,1,3 == 1		3.1 3 120	—	
月									を明確にして説明すること,中学2年生
	単 元	深まる学びへ(4)	統元 かし、文章	) 法 (), の種類	こまさまな情報を収集 Dとその特徴について理	し, 考. 解を深	えをまとめる 3め. 文章のホ	ること <sup>・</sup> 種類を	を学習している。ここでは,その学習を活 :選び,構成を工夫して魅力的な紙面を編
	名		<sup>性の</sup> 集する。	1270	( = 4 + 1 )   m = 4 + 4 + 4 + 4 + 4 + 4 + 4 + 4 + 4 + 4	.51 —1	, , , , , , , , , ,		
			<u>                                       </u>				「わか	Zı.	 から「できる」授業への工夫
	文音(	の種類を選んで書こう	于日心到						を決めること。
	•4, 5	5人のグループで編集会						, 3.E. C	
		「構成を考えて下書きを 書きを読んで助言し合い」				つま			
		にまとめ、読み合う。	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			ボず			
						まずきやす			
						۲١			
							・付箋やた		
							・chromebo	ookの) プでの)	冯用。 活動。
5						I			
						夫			
						手立て			
		随筆,物語,報道文なと	シャナギナか孫	1	評価規準 担当した記事の内容が	计加田台	カニにわる	1	文章の種類を選択し、学習の見通しを
		類の文章があることを			文章の種類を選択し,	その種	類に合わせ		大草の種類を選択し、子首の兄通しを  もって情報を編集し文章にまとめようと
	知			思	た文章の構成や表現を	ナ夫し	している。	取主	している。
	識			· 考				取り組む態度主体的に学習に	
	技能			現判断				受験を	
		プリント・行動観察			プリント・行動観察			ات ک	プリント・行動観察・自己評価
月			ニリレン カルニエ		寺別な読み方をする言葉 ⁺る音訓の組み合わせに				。ここでは,その学習を活かし,漢字の音
	単元名	深まる学びへ(1)	<sub>系単</sub>   訓や, 熱語   <sub>統元</sub>     性の	رارويا	の日からが近のプロインでに	圧悪し	/で, 沃丁で	3)6/0/2	うしていたりもの。
			学習活動				「わか	る」7	から「できる」授業への工夫
		の読み方		-			・重箱読み	,湯	桶読み,熟字訓を理解すること。
	・辣剤	オ文を読み,熟語の読みフ 閏問題に取り組む。	カに ノい ( 埋解 9	රං		っ			
						ポポ			
						イントす			
						い			
							・ワークや	ا ارد	ントを用いて繰り返し問題を解く。
							・デジタル		
_						l _			
5						夫			
						· 手 立			
						て			
					評価規準				
		漢字の音訓や、熟語になる	おける音訓の組						学習課題に沿って,積極的に漢字を読ん
		み合わせに注意して, 濱 いたりしている。	夫子で祝んにり青					<b>=</b>	だり書いたりしようとしている。 
1	知識			・考				取り知	
1	· 技			表· 現判				取り組む態度主体的に学習に	
	能	ノート・問題集・定期考	查·行動観察	断				度に	
							-		

		学年 小学校	中学校	小笠原村立小笠原中学校 国語科 3年 年間指導計画					科 3年 年間指導計画	
1	2	3 4 5 6	1 2 3							意して読むこと,自分の知識や考えと比
月	単元名	視野を広げて(4)	<sub>系単</sub> べながら <sub>統元</sub> 成や表現	,文章の の効果	り構成や論理 <i>の</i> を考えること	D展開を吟 を学習して	味する いる。	こと, 観点を ここでは, そ	を明確の学	思いて記むこと、自分の人職で考えて比 居にして文章を比較し、その分析を基に構 習を活かし、文章における具体と抽象の 展開を評価する。
			学習活動							から「できる」授業への工夫
	·全文 ·筆者 ·筆者	れた「物語」を超えて でを通読する。 近の問題意識(話題)を捉 の主張と論理の展開を が立主張と論理の展開を	捉える。				つまずきやすい			捉えること。 評価すること。
5							工夫・手立て	・話型を示	₹す。 ੴでの	の工夫。(論理の展開) 話し合いを取り入れる。 書の活用。
						評価規準				
	知識・技能	ゴリラの事例と人間社 て,具体と抽象の関係 論説の特性を踏まえん。 と根拠,具体と抽象な て,論理の展開のしかか どして捉えている。 ノート・問題集・定期考	を理解している 原因と結果,意見 どの関係に着目 たを図式化する	引 し 型	原因と結果,前 関係に着目し く結び付いて 考えをまとめ ノート・問題!	て, それらか いるかを確 ている。	文章の かめな	)中で無理な がら,自分の		文章の構成や論理の展開のしかたについて評価し、情報と情報の関係について深めた理解を生かして、文章にまとめようとしている。  ノート・問題集・行動観察・自己評価
		了 [**问题来* 定期号]	且刊到既宗			未、化规约)	⊒.1]}	训託示		/ 1 **  问题来 * 1] 勤既宗 * 日心計画 
月	単元名	視野を広げて(1)	系単 がってい	るか整	理すること,中	学2年生で	がは具	体と抽象の	概念を	見を伝えること,原因と結果がどうつな 学習している。ここでは,その学習を活体の程度を捉えながら読んだり書いたり
			学習活動							から「できる」授業への工夫
		のレッスン1具体化・抽象 †文を通読し,具体化と排		ついて!	里解する。			・具体と抽	象に	ついて理解すること。
							ポイント			
6							工夫・手立て	<ul><li>身近な例</li></ul>	を取	学習を振り返る。 り上げて説明する。 話し合いを取り入れる。
						評価規準				
	知識・技能	具体と抽象の関係にあ しかたや、抽象と具体の ら読んだり書いたりして ノート・行動観察	の程度を捉えな	) · 表現 - 表現 - 表現					取り組む態度主体的に学習に	具体と抽象の関係について積極的に理解し、学習した内容を生かして課題に取り組もうとしている。 ノート・行動観察

		学年							
1	2	小学校 3 4 5 6	中学校 1 2 3		小笠原村立小	小笠原	原中学校	国語	科 3年 年間指導計画
月	<b>上</b>		中学1年生 の構成や管	斜を	工夫して相手の心を動た	いす提	案をすること	を学	を意識して話すこと,中学2年生では,話 習している。ここでは,その学習を活か
	元名	視野を広げて(4)	<sup>統元</sup> し, 根拠と	なる情	報の信頼性を確かめ、『	聞き手	の心に訴える	るスピ	一チをする。
			 学習活動				「わか	スレカ	
	<b>説</b> 得:	力のある構成を考えよう							青報を集めること。
	・話題	夏を決めて,情報を集める					・話の構成		
		)構成を考える。 ゜ーチの会を開く。				っま			
		7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 -				まずきやす			
						トすい			
							・ワークシ	/ <b>-</b>	<u></u>
							・chromebo ・デジタル		
6						I	, , , , , ,	/ <del>1</del>	307/1/110
						夫 · 手			
						立て			
				ı	評価規準	In-r-	LIE. I		
		情報の発信者・出典, 調数などが適切か確認し	査方法,情報の て,必要な情報を		話す目的や相手を明確にし, て,伝える必要がある情報を	選んで	いる。		相手を説得できるように粘り強く論理 の展開などを考えて話の構成を工夫し,
	知	集めている。	,	- ⊞	興味を引く導入や明確な主張 る根拠や提案の設定,適切な	張,聞さ よ説明の	・于か納得でさ )順序などを考	取主	今までの学習を生かして自分の考えを 話そうとしている。
	識			· 考 表 ·	えて,話を構成している。			り組む	面とうとしている。
	技能	プリント・発表・行動観察	<del>⊘</del>	現判断	プリント・発表・行動観:	क्रं <del>च</del>		取り組む態度主体的に学習に	プリント・発表・行動観察・自己評価
		フランド・光衣・11到税	ਨ		フランド・光衣・竹動館	ボ			フランド・光衣・11 新観宗・日告計画
月									<u> </u> 助動詞の働きや種類について学習して
	単元名	視野を広げて(2)			その学習を活かし,既習 Dポイントになることをヨ			常の会	話や文章を見直したり文の表現効果を
	10		1100						
			学習活動						から「できる」授業への工夫
	·教科	への扉1  書を読み, 学習事項に1	ついて理解する。				・既省事項	を店	かして問題を解くこと。
	·教科	書の練習問題やワーク	の問題を解き,理	解した	ことを確認する。	つまず			
						ハイシ			
						イントすい			
									ントを用いて繰り返し問題を解く。
							・デジタル	/教科	書の活用。
6						工 夫			
						· 手			
						立 て			
					評価規準	<u> </u>	]		
		既習の文法事項が,日	常の会話や文章		計順が半				助詞や助動詞の働きなどを進んで振り
		を見直したり文の表現 する際のポイントになる	効果を考えたり ることを理解して					_ =	返り,今までの学習を生かして練習問題 に取り組もうとしている。
	知識	いる。		思・考				取り組む態度主体的に学習に	
	技能			表· 現判 断				1む態質	
		ノート・問題集・定期考	查·行動観察					度に	ノート・問題集・行動観察
		1						1	

		学年 小学校 中	学校	小笠原村立小笠原中学校 国語科 3年 年間指導計画								
1 月	2					や情報を読み取る方法などについて,中学2年生ではメディアを比べて,						
	単元名	情報社会を生きる(3) 編	特徴を埋解 事例の選び	し, 目 方, 取	的や状況に応じたメティ ひ上げ方や語句の選び	たメディアの選び方を考えている。ここでは、その学習を活かし,事実や Jの選び方に着目して文章を読み,書き手の思惑や意図について考える。						
		学	習活動						から「できる」授業への工夫			
		的な文章を読もう ≷生活の中で触れたことのある§	実用的な文	章を	挙げる。		・新聞記事ること。	を比	較して読み,表現の仕方について表現す			
	・「や· ・報道	ってみよう」①~③に取り組む。 道文を通読し,課題に取り組む。	ı			つま						
						ポイント						
						いすい						
								15.4				
							・ワークシ					
6						ェ	・グルーフ・デジタル	が 教科	話し合いを取り入れる。 書の活用。			
						夫 · 手						
						立 て						
		実用的な文章の資料ごとに、愉信者・発信時・発信目的を確認			事実や事例の選び方,取り 選び方に着目して文章を	読み,	方や語句の 書き手の思		文章の構成や論理の展開,表現のしか たについて進んで評価し,学習課題に			
	知	<b>వ</b> .		思	惑や意図について考えてい 観点ごとに情報を整理し、	着眼的		取主	沿って報道の文章を比較し、考えをまと めようとしている。			
	識 · 技			・考 表・ 現判	報の客観性や信頼性を確 とめている。	認しな	かり表によ	取り組む態度主体的に学習に				
	能	プリント・行動観察		断	プリント・行動観察			度習	プリント・行動観察・自己評価			
			も当った井		から△ Eを とぐナイジ (+) エーテルコ	an ≠ ≡	まつい勿みでし	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \				
月	単元				戦や経験と結び付けて超 深め,内容や表現に着目				ここでは,その学習を活かし,俳句の特徴 読み深める。			
	名	世の 性の										
	H-F-		習活動						から「できる」授業への工夫			
	·情景	の可能性・俳句を味わう 骨を想像しながら,それぞれの側 てを読み,俳句についてまとめる		する。			・俳句の鑑		を書くこと。 と。			
		句を作って楽しもう」に取り組む				つまずき						
						トす						
						L1						
							・ワークシ					
							・chromebo ・デジタル					
7						土夫						
						手立て						
		俳句で使われている語句の意	味を理解「		評価規準 語句の選び方や表現のしかが	こに着F	して俳句を読		文章の種類とその特徴について理解し,			
		したり、豊かなイメージを喚起的な語句に着目したりしている	する効果		み,評価している。 伝えたいことが効果的に伝わ 句を創作している。			±	学習課題に沿って、鑑賞文を書いたり俳 句を創作したりしようとしている。			
	知識・	俳句の形式とその特徴につい 俳句を創作している。		思 ・考 表・	自分の思いや考えがわかりや 語句や表現を工夫して俳句を	つかりやすく伝わるように, ロッグ リカス ロック						
	技能	ノート・プリント・定期考査・問題集	,行動知家	現判断	ノート・プリント・定期考査	宇可を創作し(いる。			ノート・プリント・行動観察・自己評価			
		/   「フワン」 ・・ 足別写旦 * 问起来	、11判既宗		ノー ・・・ノランド・定朔专国   	. 19起	木 门 判既宗	10	ノー・フリンド・11 判税宗・日し計画			

		学年								
		小学校	ı	中学校		小笠原村立小笠原中学校 国語科 3年 年間指導計画				
1	2	3 4 5 6	1	2 3						
月				これまでの	学習を	と踏まえ,古典や近代文	学,年间	配の人との会話の例などの中から,自分たちの世代とは異		
	単元	言葉とともに(1)	系単 統元	なる言葉の	使いる	方を見つける。				
	名	DXCC OIC(1)	性の							
			学	習活動				「わかる」から「できる」授業への工夫		
	言葉	を選ぼう						・相手や場面に合わせて言葉を選ぶこと。		
	・言葉・宣華	の変化について知る。 の変化について話し合	٦.				_			
		=や場面によって, 言葉を		0			つ ポまっ			
							イき			
							ポイント			
							۲١			
								・ワークシートの工夫。		
								・デジタル教科書の活用。		
_										
7							夫			
							手			
							立 て			
						== /= /= /*				
			<b>∞</b> l \			評価規準				
		古典や近代文学,年配の例などの中から,自分が	ル人と hちの	の会話の 世代とは異				時間の経過による言葉の変化や世代に よる言葉の違いについて進んで理解し,		
		なる言葉の使い方を見					/			
	知識				・考			NA USA PARTIES   NA		
	· 技				表· 現判			取生 試力卸訊のながら相手で物面によって 取体 古葉を選んで話そうとしている。 能に 勝望 度に ノート・問題集・行動観察		
	能	ノート・行動観察			断			プログラス プログラス プログラス プログラス プログラス フェー・ フェー・ フェー・ フェー・ フェー・ フェー・ フェー・ フェー・		
		. 13-33-0031						1 13.500		
				小学校5年	生でも	75. 満ち. 丛 水玉につし	マツ			
月	単		系単	小子校3年	理解し	山語・漢語・外末語に )い 」,相手や場面に応じて)	適切に	- 首している。ここでは、ての子首を冶かし、相語・疾語・外末   こ使い分ける。		
	元名	言葉とともに(1)	統元性の							
			学	習活動				「わかる」から「できる」授業への工夫		
		·漢語·外来語	LI	· · · — TM	an			・和語・漢語・外来語を適切に使い分けること。		
	・教材・練習	文を読み,和語・漢語・タ  問題に取り組む。	件米語	について埋	解する	٥.	_			
	1311	HENZICAN PHECO					カまず			
							ポイント			
							トすい			
							C1			
								・ワークやプリントを用いて繰り返し問題を解く。		
								・デジタル教科書の活用。		
6							I			
6							夫			
							手立			
							₹			
							1			
		和語・漢語・外来語につ	いてエ	里解し,相				和語・漢語・外来語を理解し,今までの		
		手や場面に応じて適切	に使い	分けてい				学習を生かして相手や場面に応じて適		
	知	る。			思	/		切に使い分けようとしている。		
	知識.				思 · 考 表 ·			り 組 れ		
	技能				現判断			取生 切的 組に 勝智 度に		
		ノート・問題集・定期考望	査・行動	動観察				ノート・問題集・行動観察		

		学年				William Co.				
1	2	小学校 3 4 5 6	中学校 1 2 3		小笠原村立人	小笠原	原中学校	国語	科 3年 年間指導計画	
月	単元名	読書生活を豊かに(3)	中学1年生 系典 年生で活動	かる通し	て本の魅力を感じ、今	後どん	な本を読ん	でいき	けることに役立つことについて,中学2 きたいかを考える。ここでは,その学習を 通して,読書の楽しさや意義を発見する。	
		l .	 学習活動				「わか	る」7	から「できる」授業への工夫	
	・教材	を楽しむ・読書案内・読書 対文を通読し, さまざまな ックトーク」を行う。	引うム ≳読書の楽しみ方I	こつい	て知る。	ポイント ポイント	・本の魅力	で伝え	えること。	
7						工夫・手立て	・ワークシ ・chromeb ・デジタル	ookの		
					評価規準					
	知識・技能	活動を通して本の魅力 な本を読んでいきたい プリント・行動観察		・表現野	これまでの読書生活を するためにできること ている。 プリント・行動観察			取り組む態度主体的に学習に	本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを進んで知り、今までの学習を生かして、本の魅力や感想を共有しようとしている。 プリント・行動観察・自己評価	
月	単元名	状況の中で(2)	系単 学習してい	る。こ	  ਗの効果などについて考 こでは,その学習を活か 」,現代社会の状況と重	し,比	喩や象徴的	な表現	   D見方を捉え,自分の考えを広げることを 別に着目し,文脈の中での意味を考え,表 る。	
							「わか	る」7	から「できる」授業への工夫	
	・「顔 ・表現	原爆の写真によせて 品を通読し、当時の時代書 引という表現を捉える。 現の効果を評価する。 分の意見を述べる。	<u> </u>	する。		つまずきやすい			に着目して,自分の考えをもつこと。	
8 9						工夫・手立て	・ワークシ ・グルーフ ・chromeb ・デジタル	が活動を ookの	を行う。 活用。	
					評価規準	<u> </u>	l			
	知識・技能	比喩や象徴的な表現に 中での意味を考えてい	<b>ె</b>	表現 野斯	詩に用いられている比喩 効果について自分の考え 現代社会の状況と重ね合 み深め、作者の思いや考え えをまとめている。	をまと わせな えに対し	めている。 がら詩を読 して自分の考	取り組む態度主体的に学習に	詩の構成や表現のしかたについて積極的に評価し、学習課題に沿って読み深めた詩について、感じたことや考えたことを伝え合おうとしている。	
		ノート・プリント・定期考査 	[* 问起朱*仃數餀祭		ノート・プリント・定期考査 	[*问题	未・仃ツ観祭	IC	ノート・プリント・問題集・行動観察・自己評価 	

		学年 小学校		中学校	小笠原村立小笠原中学校 国語科 3年 年間指導計画						
月	<b>2</b> 単元名	3 4 5 6 状況の中で(6)	1 系単 統元 性の	ここでは, そ	その学	)展開を踏まえて 習を活かし, 人の み, 社会や人間に	生き方	や社会	くとの関わり	方につ )方を:	いて考えを深めることを学習している。 考えるうえでの,読書の意義を理解し,小
				 - - 習活動					「わか	<u>る</u> した	から「できる」授業への工夫
	・場面	Aを通読し, 作品の設定を すや登場人物の設定に着 Aを批評する。	を捉え	る。				ポイント			系を整理すること。
9								工夫・手立て	・ワークシ ・グルーフ ・chromebo ・デジタル	活動を ookの	を行う。 舌用。
	知識・技能	文学作品を読むことが 分が生きている社会に るきっかけとなること! フート・プリント・定期考査	:ついて こ気付	て深く考え いている。	・表現断	自分の知識や経験と場時代背景などをのもつ特性や価値を「私」が考えているにどについてどう考え意見を述べている。	変えて読 探ってい 希望」や うるか,根	んでみ vる。 望む社会 拠に基	たりして,作品 ≷の在り方な づいて自分の	取り組む態度主体的に学習に	文章を批判的に読み、今までの学習を 生かして小説を批評したり、自分の考え をまとめたりしようとしている。 フート・プリント・問題集・行動観察・自己評価
月	単元名	状況の中で(1)	系単 統元 性の	手の行動を	促す	動きがあることを	意識し	,質問	で思いや考	えを引	て話すこと,中学2年生で言葉には,相  き出すことを学習している。ここでは, で相手の思いに迫る。
	<b>左左-88</b> -	たわず の田 いこうご									から「できる」授業への工夫
	・対診	で相手の思いに迫る (の準備をする。 (を行う。						ポイント	・質問で話	を引	思しながら聞くこと。 き出すこと。
9								工夫・手立て	・ワークシ・グルーフ・デジタル・デジタル	゚でのシ	舌動を取り入れる。
							西規準				
	知識・技能	話し手や聞き手が、対言 言葉遣いをしている。 プリント・行動観察	淡の中 	で,適切な	・表現野	自分の知識や経りを聞き、対談の中ができた質問や記は、どのようなもの	で, 相手 を豊か のだった	の思い に展開	いに迫ること	取り組む態度主体的に学習に	話の展開を予測しながら聞き、今までの 学習を生かして質問したり評価を述べ たりしようとしている。 プリント・行動観察

		学年 小学校	中学校	小笠原村立小笠原山学校 国語科 2年 年間投資計画						
1	2	3 4 5 6	1 2 3							
月	単元名	状況の中で(1)	中学1年生 <sub>系単</sub> の効果に着	間して いし、「!	て推敲することを学習し	ている	5。また, 具体	なと抽!	敬語の働きを理解し、適切に使い、表現 象について学習している。ここでは、その いて既習した内容を振り返りながら課題	
		1	学習活動				「わか	る」7	から「できる」授業への工夫	
		対論理の展開を整える またできた。調照に取り	:0+\				・意見が明	確に	伝わる文章に整えること。	
	* 又 阜	<b>むを通読し, 課題に取り</b> ん	H <b>C</b> ·			ポイント				
9						工夫・手立て	・ワークシ ・デジタル		の工夫。(推敲するポイントの提示) 書の活用。	
					評価規準					
	知識・技能	「具体と抽象」、「事実と 根拠」について既習したながら課題に取り組ん ながら課題に取り組ん	た内容を振り返り	・表現断	課題に沿って文章を指を整えている。 プリント・行動観察	<b>に設し、</b>	論理の展開	取り組む態度主体的に学習に	目的や意図に応じた表現になっているかを粘り強く確かめ、情報と情報との関係の知識を生かして推敲しようとしている。 プリント・行動観察・自己評価	
月			小学校3・4	  年生	<u> </u> で,ことわざと慣用句,「	中学1年	手生で故事原	対語に	 ついて学習している。ここでは,その学習	
73	単元名	状況の中で(1)	系単 統元 性の 豊かにする		]や四字熟語などについ	て理解	罪を深め, 話⁴	や文章	むの中で使うとともに,語感を磨き語彙を	
			学習活動						から「できる」授業への工夫	
	· 教材	句・ことわざ・故事成語 け文を読み,慣用句・こと 間問題に取り組む。	わざ・故事成語に	ついて	て理解する。	ポイント	・慣用句・	こと	わざ・故事成語について理解すること。	
9						工夫・手立て	・ワークや ・小テスト ・デジタル	·を行	ントを用いて繰り返し問題を解く。 い,定着度を確認する。 書の活用。	
					評価規準					
	知識・技能	慣用句を使って短文を ざや故事成語を調べた ノート・問題集・定期考:	らりしている。	思考・判断			<i></i>	取り組む態度主体的に学習に	積極的に慣用句やことわざ、故事成語を 理解し、今までの学習を生かして短文を 作ったり調べたりしようとしている。	
	1			1						

		学年							
1	2	小学校 3 4 5 6	中学校 1 2 3	)	小笠原村立小	小笠原	京中学校	国語	科 3年 年間指導計画
月			1学期には	文章に					と踏まえて読み,文章の構成や論理の展開
	単元名	自らの考えを(3)			と子省している。ここでに これからの社会の在り方l				青報の信頼性を確かめながら読み,文章を もつ。
	1		11.00						
									から「できる」授業への工夫
	・文章	知能との未来・人間と人 ₫の要旨を捉える。					・それぞれ	の文章	章の要旨をまとめること。
	・文章 ・自分	iの比較を基にグループ oの考えを文章にまとめ	゚で討論し,考えを る。	広げる	00	つま			
						ポイント			
						トすい			
							・ワークシ 示)	<u>/ート(</u>	の工夫。(文末表現に着目・文型を提
							・グルーフ		話し合いを行う。
10						工 夫	・デジタル	/教科i	青の活用。
						· 手 立			
						τ			
		自分の知識や経験と比 や根拠に納得できるか			二つの文章を比較してを表にまとめ、それを基				積極的に二つの文章を批判的に読み, 学習課題に沿って自分の考えを文章に
	_	うとしている。	てしていたころ		いる。			取主	まとめようとしている。
	知 識			思 ・考 表・	自分の立場を明確にし  を引用するなどして、自			取り組む	
	技能	ノート・プリント・問題集・況	宁期老本,行動網索	現判 断	ている。 ノート・プリント・問題集・7	- 田老	本. 行動知家	む態度に学習に	     ノート・プリント・問題集・行動観察・自己評価
			足别 5 丑 门 到 既 万	`	フーラブント 同國来 )	C#1 5	且 门到既示		フー・ブランド 内磁米 打動既示 百七叶岬
月									<u> </u> ,て自分の考えを伝えることを学習してい
	単元名	自らの考えを(4)	統元 構成など	を工夫	して明確な意見文を書い	てい	る。ここでは		Eり方について考え,適切な根拠を選び, 学習を活かし,具体的な題材を基に,そ
	-fa		性のの価値なる	どにつ	いて評価し,説得力のあ	る批評	『文を書く。		
	=470	L o + 7 11 5 7 + + + .	学習活動						から「できる」授業への工夫
	・批評	力のある批評文を書く 『文について知り,題材を	を選ぶ。				・批評する	対家(	の観点を自分で設定すること。
		で決めて分析する。 な考える。				つまず			
	・推高	して仕上げる。				ずきやす			
						い			
							・観点の設 ・ワークミ	定の	列を具体的に紹介する。 の工夫。(文型の提示)
							・デジタル	教科	書の活用。
10						夫			
						手 立			
						τ			
					評価規準				
		具体的な題材を基に, <sup>-</sup> てまとめている。	その価値につい		観点を決めて問いと考にまとめるなどして分				表現のしかたを考えたり資料を適切に 引用したりし、学習の見通しをもって批
	知	. =		思	自分の意見を支える根 引用するなどして構成	拠とな	る資料を	取主	評文を書こうとしている。
	漢   **					C 5/1	-, 10011 ~ C	取り組む態度主体的に学習に	
	抢	プリント・行動観察		規判 断	プリント・行動観察			態度に	プリント・行動観察・自己評価
1					13-3540/31				

		学年								
		小学校	中学校		小笠原村立小	小笠原	京中学校	国語	科 3年 年間指導計画	
1	2	3 4 5 6	1 2 3				A			
月	単元名	自らの考えを(1)	系単 見や根拠	こつい	て検討し、異なる立場や	考えを	尊重しなが	ら考え	.ることを学習している。中学2年生で意 :ることを学習している。ここでは,その学 」,展開を捉えて話し合う。	
			 学習活動				「わか	る」 7	から「できる」授業への工夫	
		訂話し合いを効果的に過	進める						理すること。	
		:文集のテーマ設定につ ストの□の欄に当ては:			聞き, 論点を整理する。	ポイント				
							・ワークシ ・デジタル			
10						工夫	1 2 9 70	' <del>子</del> X个十1	<b>雪</b> 切点用。	
						手立て				
						(				
					評価規準					
		全体に関わる大きな論	点から. 具体的		話し合いの目的や進み	見合な	など展望を		進行のしかたを工夫し,学習したことを	
		な論点へと話し合いをえている。			もって効果的に話し合いる。				生かして効果的な話し合いについて考	
	知	んている。		思・考	いる。	ま 取り組むに がして を変度 で フリント・行動細窓				
	識 · 技			表・現判				組むが		
	能	プリント・行動観察							プリント・行動観察	
		2 2 2 1 13 23 14003			2 2 2 1 13 23 25 33 3				2 2 1 13 23 603	
月			中学1年生	    で意見	 見と根拠を明確にし,話題	質や展	開を捉えて言	乱合	<u> </u> ・うことを学習している。中学2年生でそ	
/3	単元名	自らの考えを(4)	系単 の学習を <sup>統元</sup> 学習してい する。	活かし, ハる。こ	立場を明確にして, 適ち こでは, その学習を活か	りな根 いし, 複	拠とともに意 数の情報や	見を 発言を	述べ,異なる立場の人と話し合うことを E結び付けて考え,話し合って合意を形成	
			 学習活動				「わか	る」7	から「できる」授業への工夫	
		形成に向けて話し合おう	<u> </u>				・グループ	<u>-</u> で具	体的な提案を出すこと。	
	・グル	形成の重要性を知り,詞 一プで具体的な提案を	課題を見付け,i ⋮考える。	題を決	:න්ර	っ				
	・全体	会議を開く				ポイン				
						イントす				
						<i>ا</i> ۱				
									話し合い。(ブレーンストーミング)	
							・ワークシ	- 10	が工夫。	
11						工夫				
						· 手				
						立 て				
					評価規準					
		複数の発言の共通点を つの提案にまとめてい			提案を分類・整理し、観 したり、互いの意見の				合意形成に向けて粘り強く考えを広げ たり深めたりし,学習の見通しをもって	
	len .	- VJENCICOCOJ (VI	· • • •	_	して話し合っている。	~171 °C	<u> </u>	取主	話し合おうとしている。	
	知 : : : : : : : : : : : : : : : : : : :							体的に		
								取り組む態度主体的に学習に		
プリント・行動観察					アプリント・行動観察・自己評価			プリント・行動観察・自己評価 		

		学年											
		小学校	ı	中学校		原中学校 国語科 3年 年間指導計画							
1	2	3 4 5 6	1	2 3	] で表現の効果などについて考えること,作者のものの見方を捉え,自分の考えを広げることを								
月	単元名	自らの考えを(2)	系単 統元 性の	学習してい	る。2	学期には詩の表現の効	果を評	っこと,作者のものの見方を捉え,自分の考えを広げることを評価することを学習している。ここでは,その学習を活かし, Eみがき,語彙を豊かにする。					
			22	L <sup>2</sup> 習活動				 「わかる」から「できる」授業への工夫					
	初恋			日/山渕				・詩の中の人物の心情を想像すること。					
	·言葉					する。 取り, 感じたことを発表	ポイント						
11							工夫・手立て	・音読を繰り返し行う。(全体・ペア・個人) ・ワークシートの工夫。 ・グループでの話し合い。					
						評価規準							
	知識・技能	言葉の響きやリズムを 読している。 ノート・暗唱・問題集・定期			思考・判断	文語定型詩の構成や場して、表現された情景・いる。 ノート・問題集・定期考	や心情	青を想像して 読ま					
		ノート・咀伯・旧起来・疋州	5直"	丁虯既奈		ノート・问起果・疋則ち。 	貫・行い	f動観察 プログライン プログライ プログラ プログラ プログラ アイ・新観察 アイフェ アイ・暗唱・問題集・行動観察 アイファイン アイ・カー・ アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・ア					
月	単元名	いにしえの心を受け継ぐ (1)	系単 統元 性の	かりに作品 その学習を	を読む 活かし	こことを通して,古典に著	表れた だり,「	などして,古典の世界に親しみ,現代語訳や語注などを手掛 きものの見方や考え方を知ることを学習している。ここでは, 「仮名序」を朗読して比喩的な効果を確認したりしながら,					
							<del></del>						
	<u> </u>		子	習活動				「わかる」から「できる」授業への工夫					
	・「和哥	和歌集 仮名序 歌の世界」を読む。 今和歌集 仮名序」冒頭	部分を	・朗読し,作者	<b>皆の思</b>	いを想像する。	ポイント	・語句の使い方に注意しながら、「古今和歌集 仮名 序」を読むこと。					
								・音読を繰り返し行う。(全体・ペア・個人) ・デジタル教科書の活用。					
11							工夫・手立て						
						==	<u> </u>						
	知識・技能	「和歌の世界」を読んた 朗読して比喩的な効果 ながら、和歌に対するで ようとしている。 ノート・問題集・定期考	を確認	別したりし 思いを捉え	忠考・判断	評価規準		古典の世界に親しみ,今までの学習を生かして朗読しようとしている。  取主体 り組のに 記学 選 度 に フート・問題集・行動観察					
		ノ 「い・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	且*1万9	助既宗									

		学年											
1	2	小学校 3 4 5 6	1	中学校 2 3		小笠原村立人	小笠原	京中学校	国語	科 3年 年間指導計画			
月			•	前単元で学	<u> </u> 智し/	こ内容を踏まえ, 三つの	歌集の	歌を比較し	たり良	<b>目読したりして,それぞれの作者の心情や</b>			
	単元	いにしえの心を受け継ぐ (3)	系単 統元	情景を想像	きする。	,また,心情や情景,和歌	の表現	見方法などに	こつい	て自分の考えをもつ。			
	名	(3)	性の										
				•						から「できる」授業への工夫			
		つと──万葉・古今・新さ なを声に出して読む。	5今					・和歌に訪	ìまれ;	た心情や情景を読み取る。			
		炊の世界を味わう。 ニ響いた和歌を一首選び	一 鑑賞	ママ 書く。			つま						
	.0.10		, , , , , ,	CE VO			ポイント						
							トすい						
								・ワークシ					
								・chromebo ・デジタル					
11							工夫	・グルーフ	・グループでの話し合いを行う。				
							· 手 立						
							てて						
						評価規準							
		三つの歌集の歌を比較				気に入った言葉や表現の効果	果などに	気付き,引用		和歌の表現のしかたについて評価し,見			
		りして, それぞれの作者 想像している。	が心	情や情景を		している。 心情や情景,和歌の表現方法 考えをもっている。	まなどに	ついて自分の	<b>±</b>	通しをもって鑑賞文を書こうとしている。			
	知識・				思 ・考 表・	3,22000000			取り組む				
	技能	01.1. CDGT#	- /=	現判断	0.1.		- /=	む態度に学習に					
		ノート・プリント・問題集・気	正期考:	<b>省・</b> 行虭観祭		ノート・プリント・問題集・ジ	正期考	<b>省・</b> 行虭観祭	-  -	ノート・プリント・問題集・行動観察・自己評価			
月				1学期の「論	論語」で	 では孔子の人間の生き方	に関す	する考えを、	自分0	    ひ生き方や生活と関連付けて考えている。			
/3	単元	いにしえの心を受け継ぐ (4)	系単 統元	また前単元	では	和歌の作者の心情や情景	景を想	像している。	ここで	では,学習した内容を踏まえ,作者や作品では,現代の「旅」がもつ意味と比較した			
	名	(4)	性の			のや感じたことを想像し				. ,			
				習活動						から「できる」授業への工夫			
	夏草・作品	品を朗読する。								中の旅を比較すること。 読み取ること。			
	·心に	ffiのものの見方や感じ方 □響く俳句について発表		り取る。			つまず						
	・学習	習を振り返る。					すきやす						
							い						
								・ワークシ ・chromebo		の工夫。(筆者の旅に対する思い) 活用。			
								・デジタル	/教科				
11							夫		(0)	10 U V . C 13 7 0			
							手立て						
			-1.	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		評価規準	± v-	.L. W. = .	ı	1 1 nn 1 1 A 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			
		作者や作品について興 地の文との関係に注意	味をも しなか	55, 俳句と バら朗読し		古典の言葉を引用して鑑賞でいる。 芭蕉が見たものや感じたこと				人間, 社会, 自然などについて進んで自 分の意見をもち, 今までの学習を生かし			
	知	ている。			思	自分の思いを表現するのに 類を選び、相手の状況を踏ま	ふさわし	ハ文章の種 しょうしん かんしょう かんしょう かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ	取体	て発表したり文章にまとめたりしようと  している。			
	識 · 技				· 考 表 · 現判	メッセージを書いている。		. ,- ,	取り組む態度主体的に学習に				
	能	ノート・問題集・定期考査・	暗唱·	行動観察	断	ノート・問題集・定期考	査・行	動観察	悪習度に	ノート・問題集・暗唱・行動観察			
1													

		学年	1 444	14		1.46			- 1 32414- 1		N	
1	2	小学校 3 4 5 6	中学	仪 3	小笠原村立小笠原中学校 国語科 3年 年間指導計画							
月	単元名	価値を生み出す(3)	1学 <sub>系単</sub> を評 <sup>統元</sup> につ	期にはゝ 陌する。 いて自	ことを 分のii	学習している。2	学期にI 学習して	は情報	報の信頼性な 。ここでは,	を確か	踏まえて読み,文章の構成や論理の展開 めながら読み,これからの社会の在り方 学習を活かし,筆者のものの見方や考え	
			学習活	5動					「わか	る」 <i>t</i>	から「できる」授業への工夫	
	・筆者 ・筆者	の代わりに fの考えを確認しながら: fの考え方について話し か考えをまとめる。		きする。				ポイント つまずきやすい	・筆者の考	えを	売み取り,自分の考えをまとめること。	
12							-	工夫・手立て	・ワークシ ・chromebo ・デジタル ・グルーブ	okの 教科	舌用。	
						評価						
	知識・技能	抽象的な概念を表す語 たり、文脈上での意味さがら、文章を読んでいる がら、文章を読んでいる フート・プリント・問題集・第	を確認した <sup>り</sup> る。	りしな	· 表現 野	文章を批判的に 換しながら,筆者 考えをまとめてし フート・プリント・問	読み, 友 の考え! \る。	につい	ハて自分の	取り組む態度主体的に学習に	人間, 社会, 自然などについて進んで自分の意見をもち, 今までの学習を生かして, 理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめたりしようとしている。 ノート・プリント・問題集・定期考査・行動観察・自己評価	
月			中学	 1年生で	で書ぎ	を書き助言を基局	こ文章を	をより	よくするこ	とを学	    習している。中学2年生で作品の魅力を	
73	単元名	価値を生み出す(3)				ことを学習している で自分の考えを書		では,	その学習を	活かし	」,具体的な情報に基づいて,自分の考え	
											から「できる」授業への工夫	
	・グラ	フを基に小論文を書く シフから情報を客観的に さや内容を考えて小論文				いを立てて分析す		ポイント カまずきやすい			考えて, 小論文を書くこと。	
12								工夫・手立て	・ワークシ ・chromebo ・デジタル ・グループ	okの 教科	舌用。	
						評価	規準					
	知識・技能	具体的な情報を基に、表分析し、自分の考えを表 分析し、自分の考えを表 プリント・行動観察	着眼点を決 まとめている	めて る。	· 表現 思考· 判断	資料から読み取っ 連などについて、 推敲している。 プリント・行動観9	改善点			取り組む態度主体的に学習に	論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえて粘り強く推敲し、学習の見通しをもって小論文を書こうとしている。 プリント・行動観察・自己評価	

		学年 	中学校		小笠盾杖立	小笠區	5山学校	電話:	81.3年 年間指道計画		
1	2	3 4 5 6	1 2 3	小笠原村立小笠原中学校 国語科 3年 年間指導計画 で単語の活用や,中学2年生で助詞・助動詞の働きについて学習している。ここでは,その学							
月	単				で助詞・助動詞の働きについて学習している。ここでは,その学習 とともに,単語の活用,助詞や助動詞などの働きについて理解す						
	元名	価値を生み出す(1)	統元性のる。				, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,				
			 学習活動				[+n+v	7.1	いた「できる」控業へのエナ		
	女法.	への扉2	子百冶期						から「できる」授業への工夫 かして問題を解くこと。		
	·教科	書を読み,学習事項に	ついて理解する。	7771 /	- \ - T-T-T-		MD TO	( C / L /	O CIPING CITY (CC)		
	・教科	書の練習問題やワーク	の問題を解さ,埋	弊した	ことを確認する。	つま					
						ポイント					
						トすい					
							・ワークや	プリ:	ントを用いて繰り返し問題を解く。		
							・デジタル	教科	<b>碁の活用。</b>		
12						工 夫					
						手立					
						て					
					<b>郭</b> /年·日淮						
		「ない」の違いについて	品詞や働きの違		評価規準				単語の活用,助詞や助動詞などの働きにつ		
		いを文章の中で理解し	ている。					+	いて進んで理解し,これまでの学習を生かし て課題に取り組もうとしている。		
	知識			・考				取り組			
	技能			表· 現判 断				取り組む態度主体的に学習に			
		ノート・問題集・定期考	查·行動観察					度に	ノート・問題集・定期考査・行動観察		
			112401-14-	<u> </u>	*************************************	2117	T田 471 = = = =	<b>₽</b> \.7.₹4	ナタース きまの客 ナル辛美について		
月	単	   読書に親しむ(1)	<sub>系単</sub>   考えている	。ここ	では,その学習を活かし	,自分	理解し、読むの生き方や	計石割社会と	を通して,読書の楽しさや意義について この関わり方を支える読書の意義と効用		
	元 名	読音に祝しむ(1)	<sup>統元</sup> について理	胖 9 1	5.						
			<u>                                       </u>				「わか	Z 1 7	 から「できる」授業への工夫		
	読書							<i>ପ</i> ] /			
			フーフェン「公会地	の毛質	#師」な詩み比べ 登坦				考えたことを文章にまとめること。		
		案内 ニルサルバドルの少女 へ 人物の生き方についてE			護師」を読み比べ,登場	2			考えたことを文章にまとめること。		
		ルサルバドルの少女 ヘ			護師」を読み比べ,登場	ポポ イキ			考えたことを文章にまとめること。		
		ルサルバドルの少女 ヘ			護師」を読み比べ,登場	まずきやす			考えたことを文章にまとめること。		
		ルサルバドルの少女 ヘ			護師」を読み比べ,登場	ポポ イキ			考えたことを文章にまとめること。		
		ルサルバドルの少女 ヘ			護師」を読み比べ,登場	まずきやす	・文章を読 ・ワークシ	んで <sup>*</sup>	の工夫。		
		ルサルバドルの少女 ヘ			護師」を読み比べ,登場	まずきやす	・文章を読 ・ワークシ ・グルーフ	んで <sup>*</sup> (一ト(*)  活動。	の工夫。 (感想の交流)		
12		ルサルバドルの少女 ヘ			護師」を読み比べ,登場	ボイント エ	・文章を読 ・ワークシ	んで <sup>*</sup> (一ト(*)  活動。	の工夫。 (感想の交流)		
12		ルサルバドルの少女 ヘ			護師」を読み比べ,登場	ポイント 工夫・手	・文章を読 ・ワークシ ・グルーフ	んで <sup>*</sup> (一ト(*)  活動。	の工夫。 (感想の交流)		
12		ルサルバドルの少女 ヘ			護師」を読み比べ,登場	ポイント 工夫・	・文章を読 ・ワークシ ・グルーフ	んで <sup>*</sup> (一ト(*)  活動。	の工夫。 (感想の交流)		
12		ルサルバドルの少女 ヘ			護師」を読み比べ,登場	ポイント 工夫・手立	・文章を読 ・ワークシ ・グルーフ	んで <sup>*</sup> (一ト(*)  活動。	の工夫。 (感想の交流)		
12		ルサルバドルの少女 ヘ				ポイント 工夫・手立	・文章を読 ・ワークシ ・グルーフ	んで <sup>*</sup> (一ト(*)  活動。	の工夫。 (感想の交流)		
12		ル・サルバドルの少女 へ 人物の生き方についてE ニコのノンフィクションを読	自分の考えをもつ。		評価規準	ボイント 工夫・手立て	・文章を読 ・ワークシ ・グデジタル ・デジタル	んで <sup>*</sup> (一ト(*)  活動。	の工夫。 , (感想の交流) 書の活用。 進んで読書の意義と効用について理解し,今まで		
12		ル・サルバドルの少女 へ 人物の生き方についてE ニつのノンフィクションを読まざまな状況に生きる人や について知ったり、読書が自	自分の考えをもつ。 か, 読書によって, さ やそこで活動する人々 分の生き方を支えて		評価規準	まずきやすい 工夫・手立て どり パート	・文章を読 ・ワーク・ ・ブデジタル え付いたこす	/一ト( 活動科     	の工夫。 (感想の交流) 書の活用。		
12		ル・サルバドルの少女 へ 人物の生き方についてE ニつのノンフィクションを読 まざまな状況に生きる人々	自分の考えをもつ。 か, 読書によって, さ やそこで活動する人々 分の生き方を支えて	思考	評価規準 読書を通して、考えた。 とを読書ノートに書い	まずきやすい 工夫・手立て どり パート	・文章を読 ・ワーク・ ・ブデジタル え付いたこす	/一ト( 活動科     	の工夫。 (感想の交流) 書の活用。   進んで読書の意義と効用について理解し、今までの学習や経験を生かして、ノンフィクションを読ん		
12	する <i>〉</i>	ル・サルバドルの少女 へ 人物の生き方についてE ニつのノンフィクションを読まざまな状況に生きる人や について知ったり、読書が自	自分の考えをもつ。 か, 読書によって, さ やそこで活動する人々 分の生き方を支えて		評価規準 読書を通して、考えた。 とを読書ノートに書い	まずきやすい 工夫・手立て どり パート	・文章を読 ・ワーク・ ・ブデジタル え付いたこす	んで <sup>*</sup> (一ト(*)  活動。	の工夫。 (感想の交流) 書の活用。   進んで読書の意義と効用について理解し、今までの学習や経験を生かして、ノンフィクションを読ん		

		学年											
1	2	小学校 3 4 5 6		学校 2 <b>3</b>		小笠原村立人	小笠原中学校 国語科 3年 年間指導計画						
月	単元名	未来へ向かって(3)	2 <sub>系単</sub> <i>み</i>	学期には,	人間に	ついて考えることを学	望して	いる。ここで	は, そ	書の意義を理解し、小説を批判的に読 の学習を活かし、人の生き方や社会とのける人と人との関係について考える。			
			 学習	3活動				「わかる	る」 <i>t</i>	から「できる」授業への工夫			
	·時代 ·筆者	いスープ 計景や筆者の置かれた の考える「国際性」とは 性について自分の考え	状況を排	足えながら 売み取る。	全文	を通読する。	ポイントつまずきやすい	・文章の内	容を基	<b>基に自分の考えをもつこと。</b>			
1							工夫・手立て	・ワークシ ・chromebo ・デジタル	okの?	活用。			
						評価規準							
	知識・技能	文章に表現された人として、国際性とは何かを読書が自分の生き方やえるきっかけとなることでいる。	を読み取れ社会についた。 社会についた。 とに気付	ったり, ついて考 いたりし	・表現野・表現断	自分の生き方と作品に 方を比較して、「国際性 考えをまとめている。 ノート・プリント・定期考査	」とは	何か自分の	取り組む態度主体的に学習に	人間, 社会, 自然などについて進んで自分の意見をもち, 今までの学習や経験を生かして批評したり考えを伝え合ったりしようとしている。  ノート・プリント・行動観察・自己評価			
			1 12	学期   幻赤	シュブル	ま現のしかたについて	<b>雲が出し</b>	. 語咸をみ1	5° <b>≠</b> :	   			
月	単元名	未来へ向かって(2)	系統元性の	こでは,言	葉や	表現から作品のもつメ	プセージ	ジを捉え,自	分のす	可能性について考える。			
			学習	習活動			「わかる」から「できる」授業への工夫						
	<ul><li>朗詩</li></ul>	∪を束ねないで 診を通して, 詩のもつイメ fの思いを読み取り, 自分	ージを排 分の可能	足える。 性につい <sup>-</sup>	て考え	.చె.	・詩のイメージを捉えて朗読すること。  っまれてき トゥ ・ゥゥゥゥゥゥゥゥゥゥゥゥゥゥゥゥゥゥゥゥゥゥゥゥゥゥゥゥゥゥゥゥゥゥ						
1							工夫・手立て	・グループ ・chromebo ・デジタル	oko?	を取り入れる。(朗読) 活用。 書の活用。			
						評価規準							
	知識・技能	言葉の使われ方や表現 けながら詩を朗読して		気をつ	・表現思考・判断	詩に描かれた情景や作 しながら,社会状況やノ いて考えている。	者の思	いを想像 生き方につ	取り組む態度主体的に学習に	詩を読んで進んで考えを広げたり深めたりし、今までの学習を生かして、作品の価値や自分の可能性について考えをまとめようとしている。			
		プリント・行動観察				プリント・行動観察			度に	プリント・行動観察・自己評価			

		学年 小学校	中学校		小笠原村立/	小笠原	京中学校	国語	科 3年 年間指導計画
月	2	3 4 5 6	1 2 3 3 3 3 3 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4	語のき	学習を振り返り,場の状	況によ	って言葉を	選び,	考えをわかりやすく伝える。また,語感を
/3	単 元 名	未来へ向かって(5)	系単 <b>磨き, 語彙</b> : <sup>統元</sup> 性の	を豊か	いにし,文章の構成を工え	夫する	0		
			 学習活動				「わか	<u>る」</u>	
		間の歩みを振り返ろう							いて情報を整理すること。
	・冊子・冊子	E間の学びを振り返り, 冊子の構成を考える。 その構成を考える。 そを作る。 ₹会を開く。	∄子のテーマを決战	める。		つまずきやすい			
2						工夫・手立て	・ワークシ ・chromebo ・デジタル	ookの	活用。
		日のかわる大き舎(ア	· <del></del> - 本 - ^ 記 - 《		和毛を発達して物味を含め	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	u	ı	
	知識・技能	目的や相手を意識して をまとめようとしている 相手や場を意識しなが 選び、自分の考えを伝	る。 ら適切な言葉を えている。	忠考・判断	相手を意識して敬語を適 考えがわかりやすく伝われて発表している。 自分の考えや思いがわかうに構成や内容を考えて	るよう! りやす 冊子を	こ構成を考え く伝わるよ	取り組む態度主体的に学習に	言葉を選んだり構成を工夫したりし、今までの学習を生かして、文章にまとめたり、友達の発表を聞いて質問したり評価したりしようとしている。
		プリント・発表・行動観	察	プリント・発表・行動観察					プリント・発表・行動観察・自己評価
_				オーレ	・・問ノニレ 詰むニレ 書	シーン	の学羽を振	1.15 <u>P</u> 1	 
月	単元名	未来へ向かって(3)	系単 統元 性の	9	- 「周へここ,前心ここ,管	, C C	の子自を派	(*) <u>(</u> E.	フ, 対に13117に2月で1年前99 る。
		l	学習活動				「わか	る」7	から「できる」授業への工夫
		を振り返ろう 智課題に取り組む。					・課題で問	われ <sup>っ</sup>	ていることを読み取り,答えること。
	· <del>-</del> -	自体がは「ですが、からい。				プまずきやすい ポイント			
							・今までの	)学習	を振り返る。
3						工夫・手立て			
					評価規準	1	<u> </u>		
	知識・技能	相手や場を意識して説る。 プリント・行動観察	明文を書いてい	忠考・判断				取り組む態度主体的に学習に	文章や資料を読み取り、今までの学習を 生かしてそれぞれの学習課題に取り組 もうとしている。 プリント・行動観察・自己評価
						_		Ì	

		.1. 2	学年			T-334 1-T-	小笠原村立小笠原中学校 国語科 3年 年間指導計画									
1		小当				中学校		小笠原	れ立り	小笠原	中学校	国語	料 3年 年間指導計画			
<u>1</u> 月	2	3	4 5	6	1	2 (3) 中学1年生	 で字形	<b>を整え. 文字の</b>	大きさ	西河	などについて	て理解	して,楷書で書くこと,漢字の行書の基礎			
Я	単 元 名		書写(10)	1	系単 統元 性の	的な書きた 筆順の変化	を理解 1、行書	解して、身近な文	(字を行る) (3, 行書と	書で書	くことを学 の調和につ	習して いて学	ている。中学2年生で行書の点画の省略や 学習している。ここでは,その学習を活か			
	学習活動										「わかる」から「できる」授業への工夫					
			的に使うた	きめに							・今までの学習を生かして書くこと。					
		インと? へ向か								っ						
	3年間	りのま.	とめ							ポイント						
										い						
											・デジタル教科書の活用					
_																
5										工 夫						
12										手立						
										立 て						
			でに学習した ている。	た知識	·技能	を生かして		毛筆を書写するなかで、3年間で学習した知識・技能の生かし方を考えている。					積極的に3年間で習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして自分で決めた			
	知							思				取主	課題に沿って書こうとしている。			
	識・						・考 表・ 現判					り組む				
	技能 作品·行動観察								,			取り組む態度主体的に学習に	/h- D			
		1Foo	'仃虭既奈					作品·行動観察	ŧ.			10	作品·行動観察			
月						中学1・2年	生でで	D学習を活かし、	源平戦	や散ら	し取りのゲ	  -ムを	  通して,我が国の言語文化に触れる。			
В	単元	伝統的	的な言語文	化(5)	系単 統元			, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	<i>m</i> 3. 1 124	. 127	<b>O p</b> ( <b>P</b> • <b>P</b>		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			
	元名	IANUL	いな口叫人	16(3)	性の											
					学	L 学習活動					「わか	る17	 から「できる」授業への工夫			
	<u></u>	一首	_======================================	()TT							・百人一	首を覚	記えること。			
	.日入	一自	こ取り組む	(源平和	尿・散り	)し取り)				っ						
										まずき						
										シャす						
										ί١						
											・ワークシ	/一ト( パ活動:	の工夫。(百人一首の覚え方) を取り入れる。			
											・映像教材	が活	用。			
12										工 夫						
										手立						
										τ						
		日樗。	上り多くの	札を肖	<b>ネス</b> こ	とができ	1	計	価規準			1	「百人一首」のゲームを通じて親しんで			
	目標より多くの札を覚えることができ   る。												いる。			
	知論						思	_	/			取体が				
	. · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·									取体的組織に 動態と 態度に プリント・行動を組変						
	能											態習に	プリント・行動観察			